

「医師、柴田康時さん
のアドバイス

漆器

長持ちには扱い方ひとつ

「漆器病院」は、五十七で、これまでに約二千人が
年八月、東京の全国伝統的 来院、同病院では無料で診
工芸品センター（港区南青 断に応じ、依頼者の希望で
山三ノ一ノ一）の中に開設 石川県の輪島市の漆職人の
された、漆器の修理相談所。もとに送り、手箱・してい
毎月第二水曜日が、診察日。このほど三日間にわた
祝いの品だとか、漆器には

から大切にしよう、一年 柴田さんは言う。
に一、二回しか使わず、あ 職人たちの入念な手仕事
とはしまったまま、しまいで作られた漆器は、修理可
方も、天板など高い所に置 能で、未代まで使える。と
く人が多いのですが、これ だって、新しく作るより
は困ります」と続ける。 よっては、新しく作るより
漆器は乾燥させると、漆 もめんどろなことも。ケヤ

がはがれる恐れが出る。ほ キの木クスの入った漆を塗
ど良い湿気が必要で、東日 っ、磨き、さらにとこの
本や北海道では、桐の下段 を混ぜた漆を塗る。再び磨
など、部屋の下の方に置く いて、中塗り、上塗りとい
方が、自然の湿気を受けや 程を重ねるので、四五月か
すい。「漆器は下にしまっ ら六カ月から入院。
一と覚えて下さい」という が必要だ。「どんなけで
のが、柴田さんのアドバイ も治るのが漆器のよいと
すだ。 だからと言って、乱雑

「上等の漆器でも、カラ に扱ってもいいかというと
カラに乾いた部屋に一年置 そうではありません」
けは、漆がやせてきます。 水につけたままにしな
さらに四、五年たつとビビ い、柔らかい布で洗つなど、
が入ってきまますから、乾燥 ちよつとした心配りと優し
には要注意。また、長い間 さが漆器を長もちさせる。
棚をのし、ときでいわすと 手軽さ、便利さ優先の時代
も、店頭に並べられている だからこそ、こんな気配り
うちに保存が悪いと乾燥し の意識も大きいのかも知れ
ている場合もあります」とい



乾燥、高い所避ける 柔らかい布で洗って

「家庭でのしまい方が
悪いばかりに、大切な漆
器が泣いていきます」。こ
う話すのは、このほど札
幌・五音館で開かれた東
京・青山伝統工芸校歩道
の特別コーナー、「漆器
病院」の、医師・柴田康
時さん。お正月に使用
と、引っぱり出した漆器
が大嫌いになっていたし
なんていうことのないよ
うに、上手なしまい方を

「漆器で開かれた「漆器病院」。しまい方が悪い
人が多くです」と、医師、の柴田さんは嘆く

それぞれ深い思い出がある
ようです」と柴田さんは
言う。「せっかくの漆器だ